

令和元年（2019）7月 入域観光客数概況

令和元年8月発表
(令和元年11月修正)

96万3,600人
対前年（H30）同月比 +77,800人、+8.8%
～7月の過去最高を更新～

入域状況

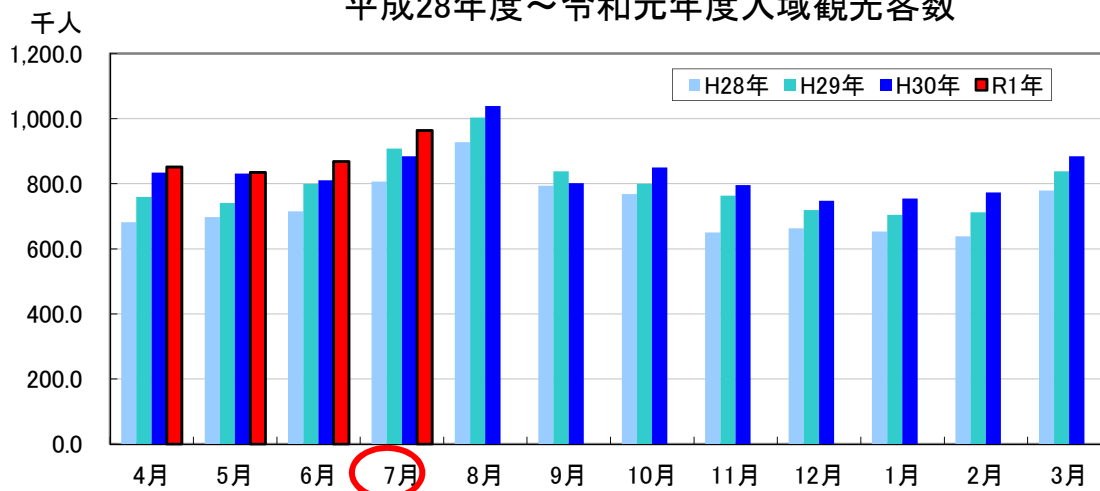
入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**含む**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	660,800 人	595,000 人	+ 65,800人	+ 11.1%	68.6%
外国客	302,800 人	290,800 人	+ 12,000人	+ 4.1%	31.4%
合計	963,600 人	885,800 人	+ 77,800人	+ 8.8%	100.0%

【参考】入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**除く**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	660,800 人	595,000 人	+ 65,800人	+ 11.1%	71.2%
外国客	266,700 人	254,000 人	+ 12,700人	+ 5.0%	28.8%
合計	927,500 人	849,000 人	+ 78,500人	+ 9.2%	100.0%

平成28年度～令和元年度入域観光客数



国内客 入域状況

7月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があったことや、全国高等学校総合体育大会が開幕したこと等から、前年を上回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、本格的な夏休みシーズンに入り旅行商品の販売が良好なことや、前年同月と比べて航空会社の航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

7月は、前年同月より航空路線の拡充があったことや、大型クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

8月は、日韓関係悪化による航空路線の減便予定に加え、訪日旅行の自粛の動きがあることや、香港デモによる影響が懸念されること等から、今後の動向に留意する必要がある。

国内客 地域別入域状況

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	330,800 人	305,300 人	+ 25,500人	+ 8.4%	50.1%
関西方面	134,600 人	114,100 人	+ 20,500人	+ 18.0%	20.4%
福岡方面	78,500 人	72,500 人	+ 6,000人	+ 8.3%	11.9%
名古屋	55,700 人	50,900 人	+ 4,800人	+ 9.4%	8.4%
その他	61,200 人	52,200 人	+ 9,000人	+ 17.2%	9.3%
合計	660,800 人	595,000 人	+ 65,800人	+ 11.1%	100.0%

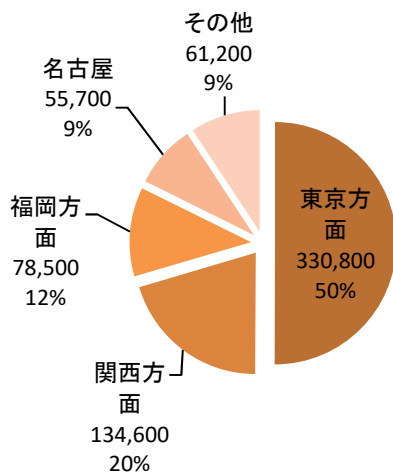
※国内海路客6,900人を含む(鹿児島2,100人、横浜4,200人、大分600人)

外国客 国籍別入域状況

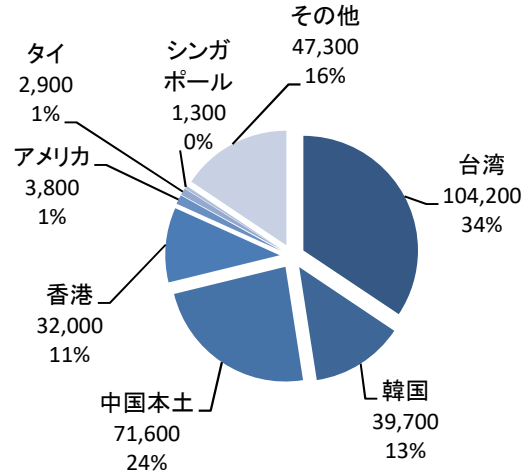
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	R1年度	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	104,200 人	104,200 人	104,400 人	△ 200人	△0.2%	34.4%
韓国	39,700 人	39,700 人	41,700 人	△ 2,000人	△4.8%	13.1%
中国本土	71,600 人	71,600 人	64,800 人	+ 6,800人	+10.5%	23.6%
香港	32,000 人	32,000 人	28,000 人	+ 4,000人	+14.3%	10.6%
アメリカ	3,800 人	3,800 人	2,800 人	+ 1,000人	+35.7%	1.3%
タイ	2,900 人	2,900 人	2,700 人	+ 200人	+7.4%	1.0%
シンガポール	1,300 人	1,300 人	1,200 人	+ 100人	+8.3%	0.4%
その他	47,300 人	11,200 人	45,200 人	+ 2,100人	+4.6%	15.6%
合計	302,800 人	266,700 人	290,800 人	+ 12,000人	+4.1%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	68,300 人	68,300 人	+5.2%	39.3%	35,900 人	35,900 人	△9.1%	27.9%
韓国	39,600 人	39,600 人	△4.8%	22.8%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
中国本土	26,800 人	26,800 人	+4.3%	15.4%	44,800 人	44,800 人	+14.6%	34.8%
香港	25,300 人	25,300 人	+15.0%	14.5%	6,700 人	6,700 人	+11.7%	5.2%
アメリカ	2,400 人	2,400 人	+14.3%	1.4%	1,400 人	1,400 人	+100.0%	1.1%
タイ	2,700 人	2,700 人	+3.8%	1.6%	200 人	200 人	+100.0%	0.2%
シンガポール	1,200 人	1,200 人	+9.1%	0.7%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
その他	7,700 人	7,700 人	+26.2%	4.4%	39,600 人	3,500 人	+1.3%	30.7%
合計	174,000 人	174,000 人	+4.8%	100.0%	128,800 人	92,700 人	+3.3%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、航空会社の提供座席数の増加や、先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったこと等から、前年を上回った。

8月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、旅行会社の旅行商品の販売が良好であること等から、好調に推移する見込み。

大阪

7月は、関西-下地島路線の新規就航等の航空路線の拡充があったことや、旅行会社の離島商品の販売が良好であったこと等から、前年を上回った。

8月は、引き続き前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されていることや、全国高等学校総合体育大会による団体旅行等の受注が良好であること等から、好調に推移する見込み。

福岡

7月は、旅行会社の夏季シーズンの旅行商品の販売強化の取組があったことや、団体旅行の予約状況が良好だったこと等から、前年を上回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、全国高等学校総合体育大会による団体旅行等の受注が良好であること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

7月は、航空会社の提供座席数の増加や、旅行会社の離島旅行商品の販売が良好だったこと等から前年を上回った。

8月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、旅行会社の離島旅行商品の販売が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

台湾

7月は、個人旅行が良好で空路客は増加したものの、クルーズ船の寄港回数が減少したこと等から前年を下回った。

8月は、クルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、夏休みの旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

韓国

7月は、前年同月に比べて航空路線の拡充があったものの、日韓関係悪化による訪日旅行の自粛の動きがあったこと等から、前年を下回った。

8月は、引き続き日韓関係悪化の影響による旅行商品の予約キャンセルや、航空路線の減便が予定されていること等から、今後の動向に留意する必要がある。

中国本土

7月は、夏休みシーズンによる旅行需要の高まりがあったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

8月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

7月は、香港-下地島路線の新規就航等があったことや、香港発のクルーズ船の寄港が増加したこと等から前年を上回った。

8月は、香港デモによる影響が懸念されるものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、香港発のクルーズ船の寄港が増加する予定であること等から、堅調に推移する見込み。